

小浜市・若狭町日本遺産活用推進協議会

事務局 下仲 隆浩



京料理は小浜があってこそ生きる。 京都の海は若狭である。



食材 食文化



京都とのつながりの中で生まれ 継承される優れた加工技術





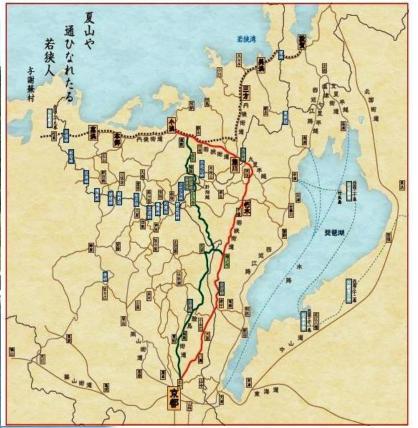




鯖のへしこ

なれずし

若狭小鯛のささ漬け







若狭とのつながりの中で生まれ継承される食文化



海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群 ー御食国若狭と鯖街道ー

小浜鯖 復活プロジェクト

















年 【鯖をフックに】

H27 日本遺産認定 鯖養殖視察

H28 養殖事業開始・鯖やと連携協定

H29 鯖やへの出荷・IoTの導入

H30 養殖事業拡大・民間委譲 鯖街道の日選定 よっぱらいサバのブランド化 古道看板の設置 伝統食(へしこ等)のブランド化 多言語ガイドブック

【鯖街道をフックに】

全国鯖サミット開催 ウルトラマラソン支援 小浜市鯖を愛するまち宣言 古民家休憩所開設 鯖街道の日選定 古道看板の設置 多言語ガイドブック

【現在の展開】

鯖ツーリズム(育てて学んで愉しみ食べる)へ事業展開営業発信は京都に集中して実施



鯖街道ウルト

福井県小浜をスタートして京都の出町柳を ゴールとする全長77キロのロングディスタ

Aコースは標高800m級の山を3つ越えるハ ドなコース設定となっています。

中間地点からスタートする43kmのBタイプ もあり、レベルに合わせてA、Bの二つタイプ から選ぶことができます。





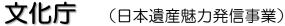


「鯖」から御食国アカデミーへ展開中

メイン ターゲット (既存)

京都を中心に、関西在住の50-60代夫婦。海水浴ブーム時の中心世代で若い頃若狭湾に頻繁に訪れ、当地の海の美しさ、魚のおいしさを認識している層

⇒この層に対する更なる訴求を継続





将来 ターゲット (新規)

関西・中京在住の30-40代夫婦と子供 がいるファミリー 京都を訪れる長期滞在の旅行家

京都を訪れる長期滞在の旅行客(欧米系外国人旅行客を含む)

⇒ 既存ターゲット以外には「若狭ブランド」への認知がなく、アプローチが不可欠

京料理を育んだ湊町で暮らすように過ごす

「食の歴史」をコアにした一貫した横連携の事業展開

国交省 • 観光庁 (日本版DMO、道路標識)











農林水産省(SAVOR JAPAN·GI)



食で一貫する「御食国アカデミー」によるツーリズム化

学んで食べてつなぐコーディネート 食と文化財の担い手 マーケット 小浜住民がアカデミー教授 統括は 重点支援DMO「おばま観光局」 生產者 基本 食べる: 地元産鮮魚、加工品を利用した一流 京都有名 ゚ブランド 京都市民 来場 シェフの料理や手軽なテイクアウト寿司、海鮮 供給 料理人 関西圏 発信 BBQに歴史物語を付加 (需要) 食品加工事業者 京都を訪れ 立命館大学 買う: 朝獲れ・漁港直送の鮮魚や伝統的加工 る旅行者 食マネジメ 品に歴史物語を付加 (インバウン ント学部 ド含む) 楽しむ:愉しむ体験をコーディネートしてプログラ 料理人 発信強化 ム化(歴史に携わる人とのふれあい)と文化財 建造物の体験拠点化 カルチャーセイバーツーリズム 漁家集落 加丁担い手 お魚センター 御食国アカデミー 食文化館 (セイバー) (鮮魚仲卸・小売) 交流の中での (見学·体験) (食育・歴史) 住民 相互ブラッシュアップ 文化財・町並み 文化財の場 食の歴史物語に付加される特別な (カルチャー) 「体験」、「ふれあい」、「非日常」を提供 (ユニークベニュー) ローカル 食の学びのツーリズム化 **ヒーロー** カルチャースポーツツーリズム 地元愛好家 鯖街道トレッキング・サイクリング、若狭湾マリンレジャー・釣り

御食国アカデミー発信拠点

〇 認定時マーケティング京都在住・京都料理人

ローカルマーケティング

「鯖・海・鯖街道」



鯖街道の鯖をフックにターゲット地 と地元での認知度アップ



○ 第1級ブランドである「御食国」につなげる展開詳細マーケティング・ファムトリップ○ 京都来訪者 ○ 京都料理人

○ インバウンド



それぞれの顧客ニーズにあう 「暮らすように泊まる」を提案 松永六感

- 五感の先をひらく -



国 宝 御食国

国宝のある里山で 「五感の先をひらく」

2020年2月スタート

sea-auberge shitsumi/海のオーベルジュ志積



未来へつなぐ漁村の暮らし

御食国の幸を生み出す海辺で 「未来へつなぐ漁村の暮らし」

2020年10月スタート



OBAMA MACHIYA STAY

多くの旅人が体をやすめた宿場町で「めぐみみちる めふりはじめる」

2017年3月スタート 現在7棟を運用



京料理を育んだ湊町に、 暮らすように泊まる

家族・友人・夫婦・グループ など多様なニーズに応える多 様なリノベーション

2017年3月スタート 現在7棟を運用



小浜西組重要伝統的建造物群保存地区内の 上質な空間で「暮らすように泊まる」

若狭・小浜の歴史ある町並み 一棟貸しの古民家宿「小浜町家ステイ」は、京料理を育んだ湊町で「暮らすように泊まる」をコンセプトに、洗練されたリノベーションにより、タイプの違う7棟を運用中。



















まつながろっかん

―五感の先をひらく―

国宝とオーベルジュでマインドフルネス

情報化が進む現在、都会の喧騒から離れて、「**御食国の自然・歴史文 化**」に囲まれ、過去の偉人たちが祈りをささげた国宝明通寺と里山オーベルジュで、自分を見つめ直し、「新たな活力と発想」を得る。













sea-auberge shitsumi RESTAURANT | HOUSE | ROOM

海のオーベルジュ 志積

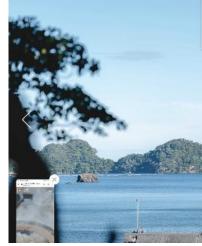






波の音を聞き「暮らし」に想いを馳せる

タイプの違う2棟の施設と海を臨むレストランで構 成されたオーベルジュ。若狭の里山・里海の恵み、 和と洋の感性がクロスオーバーする、ここでしか食 べられない、体験できないものを提供します。





















GOSHOEN

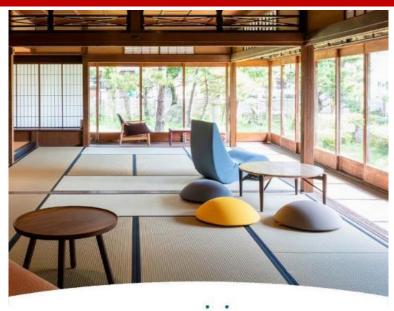
—旧古河屋別邸 (護松園) —

北前船船主の迎賓館別邸を「みんなの別邸」へ

北前船で財をなした豪商が藩主を招くために整えた別邸を、小浜のかけは しとなる「みんなの別邸」として、カフェ、コワーキング、伝統産業の若 狭塗箸の直売店として再生。さまざまな方が気楽に集える上質空間を演出。







小浜のかけはしとなる、 みんなの別邸

GUSHUEN













鯖街道起点・港町小浜の賑わい復活

鯖街道起点・北前船寄港地として栄えた小浜の中心地。 古い町並み「小浜西組」のスタート地点として、ミュージアムやカフェ、セレクトショップ、老舗店が密集。その賑わいの象徴は明治時代の芝居小屋「旭座」

鯖街道の起点























GO! SABA-KAIDO CO Obama

鯖街道トレッキング・サイクリング

往来文化に触れる街道旅

様々な文化が往来し、日本文化を形成した「鯖街道」。京都からの旅・京都への旅として、日本の原風景をたどる街道旅としてドライブ、トレッキング、サイクリングと多様なニーズに応える受け入れ体制を広域観光として整備中。





